

第69回小金井市市民参加推進会議

日 時 令和6年5月29日（水）午後6時30分～午後7時40分

場 所 小金井市役所第二庁舎8階801会議室

出席委員 10人

委員長 繁 田 進 委員

副委員長 金 尾 悠 香 委員

委 員 岡 田 一 美 委員 鴨 下 明 子 委員

橋 田 壤 志 委員 山野井 礼 奈 委員

中 村 真 子 委員 中 村 彰 宏 委員

北 村 高 委員 水 落 俊 也 委員

欠席委員 2人

須 藤 夏 生 委員 南 貴 之 委員

事務局職員

企画政策課長 富 田 絵 実

企画政策課係長 中 島 広 樹

企画政策課主事 樗 木 紗 矢

企画政策課主事 金 信 沙 樹

傍 聴 者 1人

（午後6時30分開会）

◎繁田委員長 ただいまから、第69回小金井市市民参加推進会議を開催いたします。

本日、須藤委員、南委員から欠席の連絡が入っております。定足数につきましては、市民参加条例施行規則第24条に、半数をもって成立することになっております。12人中10人の御出席をいただいておりますので、本推進会議は成立しているということで、御報告申し上げます。

本日の会議はグループワーク形式で、2つのグループに分かれて、提言の内容について議論を進めていきたいと考えております。

それでは、会議に先立ちまして、配付資料の確認を事務局からお願いいたします。

◎事務局 資料の説明の前に、人事異動がございましたので御挨拶をさせていただきます。主任の野村が異動となりまして、新しく樗木が着任いたしました。

◎事務局 企画政策課の樗木です。どうぞよろしくをお願いいたします。

◎事務局 それでは、早速ですが、資料の御説明をさせていただきます。まず、次第が1枚ございます。その下に資料1と資料2、参考資料として、「若者討議会会議運営委託 実施報告書」がございます。

資料1はホチキス留めのもの、資料2は行程案になっております。不足などがございましたら、お声がけください。委員長、お願いいたします。

◎繁田委員長 それでは、次第1「今期の提言に向けて」です。事務局から説明をお願いいたします。

◎事務局 前回の会議から少し時間が経っておりますので、これまでの会議のことを振り返りながら御説明をさせていただきます。本日は今期5回目の会議です。本日を含め、あと2回の会議で提言をまとめてまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

第8期市民参加推進会議においては、市民参加の理想像について検討した上で、課題とその解決策を取りまとめる形で提言をまとめていただきました。提言の前提として、市民参加を推進させる対象を特定の世代、つまり、若者層に限定せず、これを包容する幅広い世代とすることによって、市民参加の裾野を拡大させることを大きな目標とし、市民の意見に対する市のフィードバックについての見える化や市民の意見を出しやすい環境づくりについての御提言をいただきました。

第9期市民参加推進会議においては、小金井市が比較的若者が多いまちであるにもかかわらず、審議会等への市民参加が進んでいない現状などを踏まえ、また、市政運営の参加と協働を体現する今後の世代を育てていくという観点から、これまでも議論していただくことが多くございました「若者の市民参加」について、改めて焦点を当てることとなりました。第9期市民参加推進会議は、「若者等サイレント層の市政への興味・関心を惹起し、継続的な市民参加のための検討」をテーマとし、全3回の若者討議会（以下、通称「若者MIRAIトーク」という。）を実施し、検証することとなりました。前回2月16日に開催した市民参加推進会議では、若者MIRAIトークの会議運営受託事業者であるアビームコンサルティング株式会社と事務局より、若者MIRAIトークの概要や分析結果について御報告をさせていただきました。

委員の皆様には、事前に御連絡させていただきましたが、市民参加推進会議としてどのような課題に着目し、それらの課題に対するどのような方策を提言として市に提案するのか、御議論いただきたいと思いますと考えております。

◎事務局 前回の会議の中で、鴨下委員より、事後アンケートの「各種市民参加機会の参加意向について」という設問において、「どちらとも言えない」や「検討中」と回答した方の意識の変化について御質問いただいております。事前と事後のアンケートについて分析させていただいたので、その結果について、口頭で御報告させていただきます。

「無作為抽出の通知」を機に参加された方の時点での「市政への興味度」については、ほとんどの方が「どちらかといえば興味がある」、「興味がある」という結果でした。全般的に、

申込み時点で「市政への興味について」という設問に対して「どちらとも言えない」や「興味はない」と回答した方が一定いらっしゃいました。その方の変化について調べたところ、事後アンケートの「今回のワークショップを通じて、市政への興味度に変化はありましたか」という設問に対しては、ほとんどの方が「興味が湧いた」、「どちらかといえば興味が湧いた」という回答となっております。この結果より、申込み時点では市政にそこまで興味がなかった方でも、ワークショップに参加したことによって一定意識の変化があったものと捉えております。

属性としては、大学等のお知らせを通じて参加された方が多かったです。事後アンケートの「各種市民参加の機会の参加意向」については、「どちらとも言えない」、「検討中」と答えた方がほとんどでしたが、一方で、「今回のような取組を、知人・友人など身の回りの同世代の方に勧めたいですか」という設問に対しては、「どちらかといえば勧めたい」という回答がほとんどでした。説明については以上です。

◎事務局 どちらかというところ、無作為抽出の通知が届いたことを機に参加された方は、もともと市政に興味をお持ちの方が多かった。学校の通知などから参加された方は、最初は興味があまりなかったけれども、参加をしてみたら興味は湧いた。全3回の若者MIRAIトークに参加して、皆さん比較的満足をしてしまったのではないかと推測しています。よって、また同様の市民参加機会があったら参加したいかという質問に関して、それほど積極的に参加したいと思わなかったのではないかと推測しています。一方で、今御報告させていただいたとおり、こういう機会があれば、友人や知人に勧めたいかという質問に対しては、勧めたいという積極的な意見のほうが多い結果でした。こちらについては、自分は一度参加したことによって一定満足をしたため、知り合いには勧めてみてもいいという感想をいただいている方が多かったという分析になります。御質問ありがとうございました。

続きまして、資料の説明をさせていただきます。資料1の「第9期市民参加推進会議 提言骨子（案）」を御覧ください。今までの御議論を提言にまとめていくにあたり、提言の構成の案をお示ししております。本日皆様に御議論いただいた御意見などをもとに、提言の文案を作成し、次回の会議では、それをたたき台として、さらにブラッシュアップしてまいりたいと考えております。それでは、提言の案について、御説明させていただきます。

まず、「1 はじめに」です。こちらは、審議会の概要や立ち位置、市民参加の全体像や提言の概要などについて記載をしていく案としております。

続いて、「2 これまでの経緯」として、市の取組の振り返りや市民参加の現状、テーマ選定理由を入れる案としております。

続いて、「3 議論の内容」として、若者MIRAIトークの実施にあたり、これまで会議の中で皆様からいただいた御意見や、過去の提言の中で参考にした方策などを記載する案としております。

続いて、「4 若者討議会の実施」についてです。こちらは、若者MIRAIトークの概要

について記載する案としています。

続きまして、「5 若者討議会のアンケート結果」の例です。こちらには、その後の「6 課題」の根拠となるようなアンケート結果を掲載するような案としております。アンケート結果を全て掲載すると提言自体が若者MIRAIトークの報告書のようになってしまいますので、提言をする上で効果的又は必要なアンケート結果を抜粋して掲載し、残りのアンケート結果については、巻末に参考資料として載せるような形を想定しております。

骨子案の「6 課題」の部分では、若者MIRAIトークを実施して見えてきた課題について記載する案としております。最後の「7 提言」で、課題に対する方策という形でまとめるということを考えてございます。「6 課題」と「7 提言」の部分が提言の主な内容となります。本日、皆様に御議論いただきたい内容がこの部分です。

「6 課題」についてですが、前回御報告させていただいた、事務局で整理した課題を例として列挙しております。本日の資料では、(1)から(3)の項目にまとめておりますが、特に項目数に制限があるわけではございません。提言としてまとめるに当たり、この全てを書くのか、又は幾つかに絞って書くのか、もしくは1つに絞って書くのか。また、ここに記載した以外の課題などを中心に、後ほど皆様に御検討いただいて、考え方を整理して記載していきたいと思っております。例示だけにとらわれず、例示を膨らませるような御意見など、又は、この例示よりも違うものを入れたほうがいいのかというような御意見などを後ほどいただければと思っております。

続いて、「7 提言」についてです。参考資料1「若者討議会会議運営委託 実施報告書」の16ページを御覧ください。今後のアクションを案として記載しております。本日の資料では、(1)から(3)の3項目にまとめておりますが、こちらについても、「6 課題」同様に、特に項目数や書き方の制限はございません。例としてお示しした項目ですので、本日の会議の中で、課題や方策、アクションなどについて、皆様からいただいた御意見を基に、後日、金尾副委員長に、提言の案の作成をお願いし、次回はそれを基に御議論いただく運びとなりますので、本日皆様から広く御意見をいただければと考えております。

資料1の「第9期市民参加推進会議 提言骨子(案)」の説明については以上です。

続きまして、参考資料1「若者討議会会議運営委託 実施報告書」を御覧ください。こちらは、昨年実施した若者MIRAIトークの事業についての報告と、参加者に対して、参加前と参加後で二度実施したアンケートの結果を集計したものでございます。特に若者MIRAIトークの参加者の声が原文に近い形で載っておりますので、本日の議論の参考にしていただければと思います。

◎繁田委員長 ここまでで、何か質問や御意見等ございますでしょうか。

それでは、第9期市民参加推進会議の提言作成に向けて、1つずつ議論を進めていきたいと思っております。本日整理したい点は主に、提言骨子案の「6 課題」の整理と、それに対応する方策として何を市に提言するかという方策についてです。先ほど事務局より説明のあった参考資

料「若者討議会会議運営委託 実施報告書」のアンケート部分などを参考に、「6 課題」とそれに対応する「7 提言」について、グループごとにお話ししていただき、後でまとめたものを報告していただければと思います。お一人の方に報告していただくということによろしいでしょうか。

◎事務局 資料について、事前に送付させていただいておりますが、本日初めて御覧になる方もおられるかと思えます。少し時間を取りますので、資料を御確認いただいたり、意見の案などを御検討いただいて、雰囲気的によろしいようであればお話を始めていただけたらと思っております。

(グループワーク)

◎繁田委員長 時間になりましたので、グループごとに出た御意見などを教えていただきたいと思えます。Aグループの方からお願いいたします。

◎鴨下委員 課題と提言をまとめてお話しさせていただきます。課題としては、情報発信に焦点をあてて議論しました。情報発信の方法としては、チラシを含む紙媒体も今まで以上に活用していったらいいと思えます。特に、小中学校の子どもを通じて保護者に届けるともっと効果的に周知が出来るのではないかという意見がありました。あとホームページの活用です。トップページの分かりやすいところに、現在募集中のものの一覧などがあればいいのではないかという意見がありました。

また、無作為抽出の場合もそうですが、行動を起こそうと思ったときに、アクションのハードルが低い方がいいと思えます。二次元コードやウェブをうまく活用すれば、メールアドレスを入力する、はがきをポストに投函する、などのアクションのハードルが下がります。このあたりは提言に該当するかと思えます。

あと、テーマとターゲットについてです。今回の若者MIRAIトークのようなワークショップを実施する際、今回は子育て、次は福祉、その次は行政など、テーマを変えて開催することで、市政や市について考えることを体験したことがある人を増やしていくということが大事だという意見がありました。

あと、謝礼についてです。今回の若者MIRAIトークは、謝礼という参加のインセンティブがあったことで参加率に繋がっていると思えます。ボランティアで参加するという気持ちも大事だと思いますが、対価があることで、その時間や内容に対して、参加者が責任感を持って役割を果たしてくれるのではないかという意見がありました。

◎繁田委員長 ありがとうございます。では、Bグループ、お願いします。

◎中村(彰)委員 Aグループと同様、課題と提言をまとめて発表させてください。特に若年層に市政参加を促す試みとしてどうすればいいかという点について議論しました。まず、情報発信の仕方・広報についてです。これについては、オープンチャットの活用という意見が出ました。ただし、それだけではなく、face to face、対面でのコミュニケーションも必要ではないのか。あと、それに加えて、例えばイベントを実施する際に、人づてで参加者を増やしていく

ような仕掛けも必要じゃないか。それから、若者層にターゲットを絞ったイベントをやってはどうかという意見がありました。具体的には、来てもらうためには一つメリットがなければいけないということで、例えばギブアウェイとして、清里山荘の無料宿泊サービス、そういうようなメリットが必要だと考えています。

それから、そのイベントも定期的にやっている必要があるのではないかと。例えば、毎月第何水曜日の午後6時からとか、定期的にやっているということが周知されることによって参加しやすくなるのではないかとという話が出ました。

あと、イベントについては、毎回テーマを設けて、こういうテーマでやっていますということを出し出す必要があります。そのテーマを変えながら継続して行っていくというのが、やっぱり大事じゃないかなということですね。

それから、イベントを実施する際には、やっぱり核となるリーダーがいて、その人にずっと来てもらえるようなイベントにしていく必要があるのではないかとという意見がありました。

それから、イベントをやることによって、来てもらった人の知り合いを、新たな人を紹介してもらうようなシステムというか、新たな人を紹介してもらい、輪が広がっていくような仕組みがあるといいと考えました。

それから、特に市政に興味のないような人に訴求するようなイベントにすることも必要じゃないか。例えば、一定いるのであろう孤独な学生、そういう孤独な学生を満足させるような仕掛けをする。出会い創出の場であってもいい。参加者にアンケートを取って、どういうニーズを参加者が持っているか。そのアンケートを集約することによって、次回以降のイベントにつなげていく必要があるのではないかと。イベントにおいては、来てくれた人が満足できるような生の情報、例えば小金井の食についての情報や就活についての情報、出会いについての情報など、健全な意味でね。そういった若者が欲しがるといえるような情報を、そのイベントにおいて提供していくことが必要なのではないかとという話が出ました。

◎繁田委員長 ありがとうございます。

AグループもBグループも、結構似ていますね。情報発信という課題では、Aグループは二次元コードの活用ということでした。チラシは、周知したい対象によっては、小中学校の保護者を通じて周知するというのは非常にいい提言だと思います。逆にBグループは、オープンチャットと人づてということでした。Bグループには、成人式の日清里山荘の無料宿泊券が当たって、そこでいい思い出を作られたという方がいました。それを機に、今まで興味がなかった市報を読むようになったということです。インセンティブと、それを機に人の輪をどんどん広げていく、知り合いなどをイベントに巻き込んで市政を自分事と捉える人を増やしていくという意見がありました。

あと、次につなげていく市民参加の機会ということで、Bグループは、イベントを定期的で開催する、Aグループは、テーマを変えてやって開催する、そういう意見がありました。

やはり、今後につなげる方策ということで、継続して市政に関わっていくには、両グループ

とも、対価、インセンティブが必要ということでした。Bグループは、初回は図書券など分かりやすいインセンティブに、2回目以降は若者のニーズに合った情報の提供などを行うなど、若者が本当に必要としているような情報を提供していけば、参加率につながるのではないかとということでした。

今後につなげる方策ということですが、定着するには、最低2年や4年の範囲で、可能な限り同じ職員に窓口となっていただくことで、継続的に参加できるようになるのではないかとという意見もありました。

Aグループ、Bグループ、この短時間でいろんなアイデアを出していただきまして、ありがとうございました。

◎繁田委員長 市政に関わる、市民に還元する、また市政に関わる、そういうサイクルになるといいですね。ありがとうございました。

それでは、これらの意見を踏まえて、事務局と提言内容について整理し、提言案のたたき台を次回、皆様にお示ししたいと思います。

◎繁田委員長 それでは、本日最後の議題です。次第2「次回推進会議の開催日について」です。事務局から説明をお願いいたします。

◎事務局 資料2「第9期市民参加推進会議行程表」を御覧ください。今後の流れとしては、今日御議論いただいた内容を金尾副委員長と事務局でまとめさせていただいて、8月に開催を予定しております次回の会議で、提言案となるものを皆様に御確認いただきます。その後は、いただいた御意見を最大限反映させた形で修正した案を、メールなどで御確認をいただき、提言を完成させていきます。今年の10月末頃に、御出席いただける方のみで、市長に提言する会を設けたいと思っております。表に記載しております11月に開催予定の最終回につきましては、提言を受けまして、市長からの回答についてお示しさせていただく会としたいと思っております。

今回は8月頃を予定しておりますが、詳しい日程については、またメールで御調整をさせていただければと思っております。御協力、よろしくをお願いいたします。

◎繁田委員長 そのほか、何かございますか。それでは、これもちまして、第69回市民参加推進会議を終了とさせていただきます。ありがとうございました。

(午後7時40分閉会)